

障害者の在宅就労を仲介

神戸市が支援機関

神戸市は5日、同市東灘区の神戸ファッションマーチ内に、障害者の在宅就労を後押しする総合相談支援機関「しごとサポートICT」を開設した。障害の種別を問わず、データ入力やホームページ作成など、在宅でできる仕事を企業から受け、能力に応じて振り分ける「仲介役」を目指す。情報通信技術（ICT）を活用した就労支援に特化した機関を、行政が設置するのは全国でも珍しいという。

事業は、1991年から



事業を説明するプロップ・ステーションの竹中ナミ理事長(右)と神戸市の三木孝保健福祉局長(左)神戸市役所

障害者の就労支援を続ける社会福祉法人「プロップ・ステーション」(同市東灘区)に委託する。同法人は既に、全国の企業から紙資料のデータ化などパソコンを使った作業を引き受け、通勤や職場での仕事が困難な障害者らに提供。企業から同法人、同法人から障害者へと報酬を支払う形で、在宅就労を進めている。同市の三木孝保健福祉局

長は「支援機関を作ること
で、多様な働き方を進めた
い」と説明。同法人の竹中
ナミ理事長(68)は「障害の
ある人の親は、自分の死後、
子どもが自立してやってい
けるかが一番心配。人との
コミュニケーションが苦手
でも、イラストなどで才能
を発揮する人もいる。年齢
は問わないので、まずは相
談してほしい」と話す。

相談無料。神戸市内の障
害者対象。プロップ・ステ
ーション ☎078・845
・2263 (平日午前9時
〜午後5時半)

(上田勇紀)